

(1) 会議名

平成28年度第2回北杜市環境保全基金活用検討委員会

(2) 開催日時

平成28年11月7日(月) 午後1時30分～午後2時20分

(3) 開催場所

北杜市役所本庁舎西会議室

(4) 出席者

委員

協力企業代表者 大島博行  
市民代表者 船木良  
環境保全団体代表者 篠原充  
環境保全団体代表者 跡部治賢  
環境保全団体代表者 枝木秀行(代理)  
環境保全団体代表者 増田直広  
北杜市副市長 大芝正和  
北杜市企画部長 菊原忍  
(欠席：市民代表者 清水謙雄)

事業所管課

環境課環境保全担当リーダー 田丸敬一  
環境課新エネルギー推進担当リーダー 有賀英敏  
環境課新エネルギー推進担当 仲澤徹  
林政課長 堀込美友  
林政課林政担当リーダー 浅川知海  
観光・商工課観光振興担当 仲山直樹  
観光・商工課観光振興担当 堀内玲  
食と農の杜づくり課食育・地産地消担当 堀内健  
まちづくり推進課建築開発指導担当リーダー 中山由郷  
生涯学習課社会教育担当リーダー 平井伸一  
須玉総合支所増富出張所総務担当 小澤義久

事務局

政策秘書課長 丸茂和彦  
政策秘書課政策調整担当リーダー 水石正幸  
政策秘書課政策調整担当 坂本誠

(5) 議題

- ・平成29年度基金活用事業の予算について
- ・その他  
市民提案事業の募集時期について

(6) 公開・非公開の別 公開

(7) 傍聴人の数 0名

1. 開会

事務局丸茂から代理出席と欠席委員について報告

2. 委員長あいさつ

篠原委員長の挨拶

3. 議事

議長：傍聴希望者なし。また、会議録署名委員を、大島委員と船木委員とする。

議長：「平成29年度基金活用事業の予算について」の説明を求める。

事務局：11事業について一括にて説明。

議長：1番目の「南アルプスユネスコエコパーク推進事業」と2番目の「世界に誇る水の山北杜ブランド推進事業」について、質疑を求める。

委員：「南アルプスユネスコエコパーク推進事業」と「世界に誇る水の山北杜ブランド推進事業」それぞれに、PR・情報発信事業があるが重複していないか。

所管課：エコパークは白州・武川地区を中心とした地域のPRをする。水の山は、市全域の水をPRするものなので重複しない。

委員：PRに使うのぼり旗は、管理を適切に行うこと。すぐに劣化して見た目が良くない。使う期間が短期間ではなく長期間であれば、他の方法を検討すべき。

委員：エコパークは関係10市町村が頑張っている。他の市町村の活動が分かれば教えて欲しい。

所管課：関係市町村が連携する組織の名称を「南アルプス自然環境保全活用連携協議会」に変更し、環境省や林野庁などの関係省庁を含めることができるようにした。ライチョウをはじめとする動植物の保護やシカの食害の防止、知名度を上げるためのセミナーやフォーラムを開催している。

委員：他の市町村の取り組みを共有し、活動を拡大して欲しい。

委員：世界遺産に比べると知名度が低い。もっとPRできればよいと思う。

所管課：地域住民にエコパークの素晴らしさを伝え、誇りに思ってもらい、それを伝えることが、活動を継続できる一つの方法だと思う。

事務局：できるだけPRしていく。市政報告会やホールを使った事業の際に、PR動画を流すようにしたい。

委員：定住自立圏の富士見町と連携する事業はないか。

所管課：今の所はないが、富士見町は外来種からの保護を先進的に取り組んでいるので、それに関して一緒にできることを検討したい。

委員：子ども公民館劇場は、子どもが関わっている良い事業であるが、あまりPRされていない。もっと、CATVなどでPRして欲しい。

委員：エコパークは主に白州・武川地域が中心となっている。他の地域の人にも知られるよう、もっとPRして欲しい。

事務局：今後はCATVをはじめ様々な方法でPRしたいと考えている。

議長：1番目と2番目の事業について審議を求める。

全員：異議なしで承認

議長：3番目の「環境教育推進事業」から11番目の「市民提案型環境保全事業補助金」まで、一括で質疑を求める。

委員：3番目の事業の「親子環境学習会」と「幼児環境教育プログラム体験事業」の違いは。

所管課：親子と一緒に学ぶ体験型事業と、保育園で園児に対し実施する教育事業となっている。

委員：里山整備の事業費が一番大きい。他市と比べても大きい金額である。この環境保全基金があるから実施できると言える。事業実施の際は、環境保全基金を使っていることをPRして欲しい。

所管課：今後は、更に環境保全基金を使用していることをPRしていきたい。

議長：3番目から11番目の事業について審議を求める。

全員：異議なしで承認

議長：「その他」について事務局の説明を求める。

事務局：平成29年度の市民提案事業の募集時期を、平成29年2月1日から3月3日までとしたい。

議長：質疑を求める。

全員：質疑なし。

議長：他にあるか。

委員：これまで保存活動をしてきた八ヶ岳南麓に生息している県の天然記念物のミヤマシロチョウが、調査の結果絶滅する可能性がある。原因は、チョウが産卵する花を、シカが食べてしまうことと思われる。南アルプスでは、貴重な花を柵で囲い、シカから保護した実績がある。来年度の事業で、花を柵で囲い保護することはできないか。

所管課：各委員の承認が得られれば、事業費を算定し計上する方向で、調査

検討したい。

全委員：意義なし。

#### 4. 閉会

午後2時40分終了